工業つ子

No. 143
—発行日—
2017.02.06
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

新生徒会、起動。
～頼れる生徒会目指して～

昨年の十二月二十一日に行われた生徒会役員改選。選挙を終えて、新しく生徒会の役員になった新生徒会の皆さんに今後の抱負などについてインタビューをし、聞いてみました。

質問内容
①当選したときの気持ち
②どんな学校にしたいか
③生徒に一言

▲１年間、よろしくお願いします

会長（A2 丸亀幸之輔）
①皆への感謝で胸がいっぱいでした。
②行事を学校全体で盛り上げることができる学校にしたいです。
③生徒会は生徒の皆さんの味方です。困ったことがあれば是非ご相談ください。

副会長（C2 小谷美菜）
①選んでもらったからにはやるしかないと思いました。
②皆が通いやすい学校にしたいです。
③できることは何でもします。

副会長（J2 早田優太）
①うれしかったです。
②生徒が過ごしやすい学校にしたいです。
③長い演説を最後まで聞いて下さり、ありがとうございました。一生懸命頑張ります！

書記（C2 猿渡賢）
①不信任投票だから当たり前かと。
②生徒会長についていけたらいいなと思います。
③当選したからには仕事を精一杯こなします。

書記（J1 吉冨円）
①落ちたらどうしようかと思っていたので、ホッとした気持ちが大きかったです。
②生徒会の活動が表に見えるくらい活発に活動していき、学校を動かしていきたいです。
③精一杯頑張るので意見や要望はガンガン言ってください。

▲新会長です。よろしく！

会計（J2 中村絵里花）
①頑張ろうと思った。
②笑顔いっぱいの学校にしたいです。
③これからよろしくお願いします。

会計（P1 宮野隆雅）
①うれしかったです。
②明るく楽しい学校にしたいです。
③一年間精一杯頑張りたいと思います。

「経験を活かして」
―前会長から新生徒会へ

前生徒会長の中村彪瑠君（P3）に、次の生徒会役員に向けての想いなどをインタビューして聞いてみました。中村君は、「来年は本校創立八十周年という節目の年です。生徒会での活動経験がある人もいるので、新生徒会長を中心に協力して頑張ってください」と語ってくれました。

▲次の世代へエール

生徒の先頭に立って、さまざまな行事等で活動する生徒会の役員。そこに全校生徒の大きな協力を加えて、さらによりよい学校にみんなの力でしていきましょう。

今日の一枚
～極寒の太陽～

寒い日にみなに囲まれる人気者

今日の一枚は図書室のストーブ。新聞部が放課後、補習などの関係で選択教室が利用できない時に、お世話になっている場所の一つである図書室。空調設備があって、夏でも冬でも快適な空間が保たれていますが、そんな空調が絶賛故障中とのこと。かわりにストーブがぽつんと一つ置いてあります。空調の効かない部屋の寒さに、生徒達はたまらずストーブを囲み暖をとります。しかし近づきすぎると熱すぎるし、遠すぎると温まらない困ったヤツ。（峰）

「もの」を生み出すために
知的財産権

十二月十六日に行われた知的財産についての発表と講演。発表はM3が「改善提案ノートを中心に世界と日本の特許数について」、I2が「特許取得について」。発表したM3とI2にインタビュー。

質問内容
①感想
②学んだこと
③これを通しての変化
④矢澤さんの講評を受け

M3 小川俊一さん
①海外の知的財産について知られてよかった。
②フランスの知的財産。
③普段から特許のアイデアを考えようと思った。
④自分達が知らない情報を知ることができた。

I2 山口タ紀乃さん
①こんな機会をもらえてよかった。物作りへの理解や想いが深まった。
②物作りの大変さと特許を取得した先生への尊敬。
③物作りに対する理解。
④先生以外から評価されることがなかったから、とても新鮮だった。

▲想いを熱く語る矢澤教授

長崎大学 矢澤孝哲教授にインタビュー！

講演終了後、少しだけお話を伺うことができました。

Q長工生はどうでしたか。
―こんな取り組みを高校生からやるのは幸せなことだと思う。発表もよく頑張っていた。整列が綺麗だったのが印象的。

Q今後期待することは。
―何かを思いついたときはみんなに広め、三、四＋一＝二ではなく三、四＋一コンクール。今回の取り組みを生かしていきたい。毎年、全校生徒で参加している「発明創意工夫能性を広げてほしい。

いったいいくつだ!?
数えてみよう ～鏡餅編～

▲武道場にて

さあ今年もやって参りました、毎年恒例数えてみよう～鏡餅編～。冬休み期間を利用して、新聞部員達が学校中を奔走し、校内にあるすべての鏡餅を数えました。一昨年は十六個、去年は十二個と年々減少している鏡餅。今年は増えていてほしいと願いながら集計しました。しかし、そんな願いもむなしく一つ減って十一個。A科に四個、I科に三個、職員室と武道場、図書室、定時制の建築科に一個ずつでした。やはり年々少なくなってきています。このままではこの学校から鏡餅を飾るという文化が無くなってしまうかも…。新しい年への願いと日本のお正月らしさを感じさせる鏡餅。また年の瀬に巡り会えることを願っています。

この数えてみようのコーナー、最近風化しつつあります。これから徐々に回数を増やしていこうと思います。

青春日記♪

今年の私の初夢は、太陽らしき高熱の球体に焼き焦がされるというちょっとショッキングな夢でした。大掃除がてら庭に干した布団の心が表れたのか。などと考えていたら目の前に煌々と輝くヒーター。お前が犯人か。

さて、年末年始皆さんはどのように過ごしましたか。私はもち三昧な生活を送っていました。餡もちを食べてはテレビを見て、きなこもちを食べてうとうとする。ちなみに、最近のブームは醤油、それか海苔を巻いて磯辺もちも♪心なしか以前に比べ体が重たくなったような気がします。いやしかし、美味しいのだからいいのだなあ、これが。うーん、桜の咲く頃にもなれば桜もちなんかもいいですね！年明けは早々、収まるところ知らずの餅欲です。

先日、中学時代に仲の良かった友人たちと久々に集まった話題は変わって先日、丸三年ぶりに遊ぶことに。思い出話に花を咲かせながら初転がし（ボーリング）や、初打ち（卓球）を楽しみました。帰り道には、自動販売機がありまして、負け犬が「ジンケンジュース一本強制買い」という闇のバトルを繰り広げる。何とも馬鹿らしい、しかし懐かしい空気に疲れとお金が吹っ飛ぶ。最後に一つ報告が。実は私が一年間取り組んできた課題研究がテレビで報道されました。つまりテレビデビューです。内容は福祉機器の製作・寄贈で「見たかもー」というようなのではないでしょうか。とのいってもいい私はほんの一瞬うつっただけでして…。ほんの一瞬、されど一瞬。ともかく、「テレビ進出」！（松尾）

それぞれの基準

先日、実施された悩みいじめ調査・アンケート。まいたかよ…と半ば呆れつつもシャーペンを握りしめ、書き込んでいく。悩みの調査はおいといて、いじめ調査においては、「二学期からこの日までにいじめを受けたことがありますか」答えはいいえ。「いじめられたことがありますか」答えはいいえ。「いじめを目撃したことはありますか」答えはいいえ。そして最後に「いじめをなくすには、どうすれば良いと思いますか」ここで僕は少し考え込んでしまいました。以前までは陰口をなくすだとか、その人を悪い目で見ようとしないなど書いてきました。が、それらが解決したところでいじめはなくならないと思ったのです。その人が、「いじめを受けている」と思えばそれは「いじめ」になります。

例えば先日友達にお前の親は厳しいよな、と言いましたがその友達はそんなことは無いよ。むしろお前の親が甘すぎるだけだ、と言われました。自分が基準だと思っていることが他の人と同じというとは限りません。

日常生活を送っていく上でその人がこれまでどのような時間を過ごしてきたかによって決まる、人それぞれの基準があります。知らず知らずのうちにそれを「当たり前」と思っています。自分の当たり前と違う人と遭遇したときに、知らないうちに「いじられ」ていると思わせてしまっているかもは知れません。

こう考えると、意識的な「いじめる」はなくせても無意識の「いじめる」をなくすのは難しいと思えるのです。だからこそ、この事実を理解して「いじられている」と思っている人の話を聞くなどの心構えが大切だと思います。お互いの違いを受け入れ理解できたとき、「いじめ」をなくしていけるのではないのでしょうか。（峰）

スポーツトピックス

極寒の海 集中力との戦い（ヨット部）

昨年、十二月二十四、二十五日に東京都若洲海浜公園ヨット訓練所で開催された、第二十九回全日本セーリング420級選手権。競技は厳しい真冬の海の中で行われました。選手達は、世界に向けて、次のシーズンに向け、それぞれの想いと目標を胸に、この大会に臨んでいました。長工のヨット部からも三艇、OG二名を含んだ計六名出場。結果は、A2今村瑠菜さんとOGの原田小夜子さんペア（県セーリング連盟）が女子優勝、総合四位成績を見事掴み取りました。

A2今村瑠菜さんにこの大会についてインタビューすると「今回は先輩と一緒に出場したので学ぶことが多く良い経験になった。また二日目は風が強く、その中で集中力を保てるよう頑張った。今は怪我をしてしまっているので治ってから体力やメンタルを強く鍛えたい」とのこと。また、顧問の三嶋先生にお話を伺うと「本当の勝負は今年の夏。それに向けての良い機会となった。また本人たちの自信にも繋がったと思う。勝つための準備は整ってきたので、次は精神力の向上に努めたい。頼もしく成長してくれているのでうれしい。真冬の強風の厳しいレースでガッツを見せてくれて感動しました」と話してくれました。

◀勝利の喜びを胸に

接戦繰り広げるも…ハンドボール新人戦

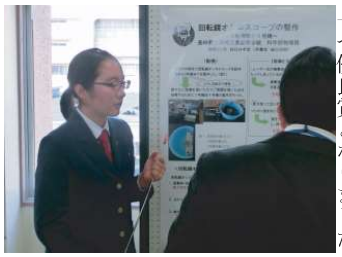
十一月十九、二十、の二日間長工体育館で行われたハンドボールの新人戦。もちろん新聞部も応援&取材。白熱した試合が繰り広げられ、また、会場には全力で応援する野球部の姿が見られました。結果は準決勝で瓊浦高校に十七対十三の惜敗。

試合終了後キャプテンのM2皷慎一郎君に話を聞くと「今まで練習したところがしっかりできたが、自分達の課題も見つかった。今後は瓊浦高校、日大高校に勝てるように気持ちを切り替えて頑張っていきたい」と次への意気込みも語ってくれました。顧問の大渡先生にもお話を伺うと「よく頑張った。意地を出して勝とうとする気持ちが伝わってきた。今後は体重を増やしていこう。春には勝ちます」と選手、先生共に前向きな姿勢が伝わってきました。春季大会での活躍を期待します。

▲一歩も引けを取らない戦い

科学部 優秀賞受賞 あと一歩の悔しさを胸に

十一月五日に長崎県立大学佐世保校で開催された、県高等学校総合文化祭第二十二回科学研究発表会。本校科学部からも五本の発表を行い、展示発表部門では「電磁誘導に関する実験」（電子工学科三年・今道勇太君）「回転鏡オシロスコープの製作～三号機改と四号機改～」（機械科一年・谷口みずほさん）の二つが優秀賞を受賞。さらに谷口さんは九州大会への出場権を獲得しました。そのほか、出場した科学部員は展示発表部門で二つ、口頭発表物理部門で一つ優良賞となりました。



▶発表中！（谷口さん）

九州大会への出場権を得たM1谷口みずほさんにインタビューして、県大会の様子と九州大会への意気込みを聞いてみると「ひろしま総文よりは張り詰めた空気ではなかったけど、最優秀賞を取らないと全国に行けないという緊張があった。優秀賞を取ったときは、喜びより全国に行けない悔しさの方が大きかった。九州大会は全国にはつながりませんが、最優秀賞を取りたいと思います」と、悔しさと次への熱意を込めて話してくれました。

九州大会は一月二十八、二十九日に福岡工業大学にて。まだ、一年生の谷口みずほさん。これからの活躍が大いに期待されます。

▲ここがこうなって…（今道さん）

期末テスト編 こふ工生！！！ パート②

～テスト中にパニック～

※念には念を！

新聞部、新聞記者に聞く インターハイ新聞コンクール優秀賞受賞

インターハイ新聞コンクール・優秀賞・ポカリスエット賞を受賞した新聞部。そのことについて、西日本新聞社の帖地浩平さんと読売新聞社の姫野陽平さんの二名の方々が取材に来られました。そこで新聞づくりを本職としているお二人に、インタビューの仕方についてお話を聞きました。

西日本新聞 帖地浩平さんに聞く！

西日本新聞社に勤めて二年、連載物が好きだという帖地浩平さん。インタビューについて、「無言の時間を作らないようにする。そのために一言一言をしっかりと聞き、ちゃんとふくらませられるようにする」と笑顔で語ってくれました。

▲帖地浩平さん

▼姫野陽平さん

読売新聞 姫野陽平さんに聞く！

読売新聞に勤務しており大学時代から物書きが好きだという姫野陽平さん。インタビューについて、「無言の時間を作らないことと、答える人がイエスかノー以外の答えになるように質問を組むこと」と明るく答えてくれました。

今回他にも、お二人にたくさんのお話を聞かせて頂き、貴重な体験となりました。この体験をこれからの新聞作成などに生かし、より良い新聞を作れるように努めていきたいと思います。

シリーズ ロボコン道2

心機一転！

ロボコン道を担当していた先輩が引退し、今回からは一、二年生の部員でリレー形式でこのコーナーを書くことになりました。最初の担当は部長の、C2八木将貴です。さて、現在はロボ研部では例年通り技術と体力の向上を目標に活動しています。技術の向上を図るために、リレーシーケンスや、製図などを習わない学科があるので、お互いに教え合っています。

ロボコンを行うだけとはいえ体力は重要なので筋トレやランニング、柔軟で体を鍛えています。（八木）

▼お互いを高め合う

科学部エコバック配布活動 地球にやさしく地域貢献

十二月二十五日に住吉商店街で行われた新聞紙エコバックの無料配布。参加したメンバーは長崎工業（科学部）、海星高校（生物部）、国見高校（ボランティア部）、長崎大学（がちゃさいくる）、長崎総合科学大学（個人のボランティア）。この活動は「環境活動を通して高校生同士の連携と交流の場」にしようというもので今回で七回目。住吉商店街での活動は昨年に引き続き二回目です。

エコバックを手にとってくださった方々にお話を伺うと「高校生の取り組みとしてとてもいいと思う」「普段は新聞紙をエコゴミ入れなどにするが、エコバックにする考えは無かったから驚いた」との声が返ってきました。

参加した長工科学部の部員に感想を聞くと、D1木村君は「呼び込むのが中々大変だと分かった」、C1川内君は「こんなに来ないとは思わなかった。だけどいい経験になった」とのこと。顧問の門崎先生は「各高校や長崎県内の大学との連携ができた。高校生も大学生も達成感がある地域貢献ができる活動になった」と笑顔で話されていました。

身近なところからのエコ活動、あなたもエコを意識しながら行動してみませんか。

▼エコバック、いかがですか～

一年生な☆日々

さて、年が明け、正月が終わり、三学期が始まりました。みなさん、あけましておめでとうございます！やはり、最初は新年の挨拶で。

三学期の日々が過ぎ去るのはあっという間。冬休みなんて、遠い昔…。なのですが、冬休み、どうでしたか。私の一番楽しかった思い出はクリスマスに「気分は上々」というイベントに行ったこと。まあ、一緒に行こうと誘った人がみんな予定が入っていて、一人での参加でしたけど。次は三月に開かれるので、今回の二の舞にならないよう早めに友達を誘おうと思います。

冬休み中に大変だったのは、なんといっても課題。冬休みが始まる前は「早めに終わらせよう」とやる気に満ちていたはずが、気がつくと残り日数が二、三日。今『一年生な日々』を書いていてふと思い出したのです。「夏休み明けも同じようなこと、書かなかったっけ…？」と。成長してない。「三度目の正直」という言葉通り、次こそは計画的に終わらせたいです。

工業に入って約十ヶ月。成長した面と言えば電気工事士と工事担任者に合格したことですかね。

ということで、今年も続く「一年生な日々」。どうぞよろしくお願いします。（上杉）

編集後記

発行が遅れた今回の号。本校でインフルエンザが流行ってしまったように、我が新聞部でも顧問の先生が病に伏せるという事件が…。卒業式までにあと二号も発行しなければいけないという衝撃のハードさ。負けずに頑張っていきたいと思います。